

破天荒

教宣部

4976号

2014年

6月17日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

2.57ヶ月 なつの一時金

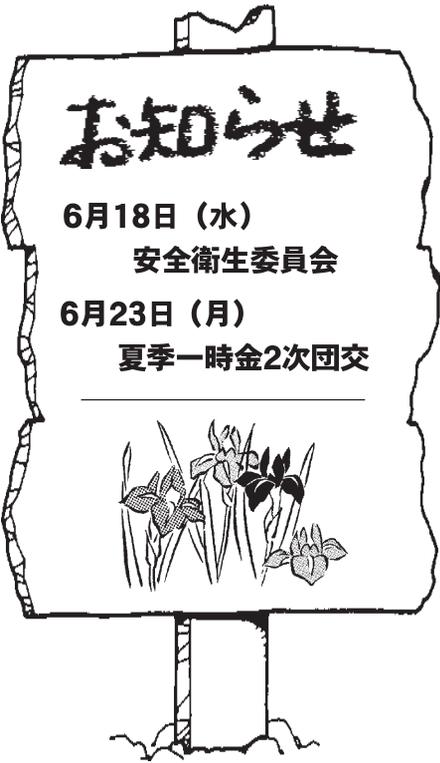
昨日、夏の一時金回答がありました。三社とも売上を伸ばさず中、組合は三社合計の一人当たり経常利益から数式で算出された月数の回答となりました。

明と暗

各社新社長となり三年目を迎えました。

夏季一時金対象期間(昨年十月〜今年三月)の業績は電子・オプトで経常利益を伸ばし、システムでは前年に比べ赤字幅の縮小したものの想定外とされる対象期間一人当たり経常利益赤字は五十万超で五季連続となりました。

計算式をそのまま当てはめると、電子一・五七ヶ月、システム計算できず、オプ



ト三・一七ヶ月となり、組合員以外の方は査定で±〇・二カ月の支給月数となるそうです。

私たちは

組合員は三社にまたがり、各社別の業績を受け入れて三カ月超の人もいれば

先日、届け出用紙の発行者の印鑑は日付印ではなく、シャチハタ若しくは認印を押すようにとの回覧が回されました。混乱しているそうです。

従来システムや電子では、社内文書(届出用紙も含めて)の作成印は全て業務印というのが慣例でした。

なぜそうなったのかというと、(私は知りませんが)相談役が社長であった頃に



電子

二カ月未満の人も出ることで査定には反対の立場をとり、例え低くても安定した一時金・疑心暗鬼にならない一時金を選択していきましょうという心意気です。

上司や社長から一方的に頑張ったように見えるから受け取ってもらいたい(払わない)という査定とは一線を画します。そういうやりとりが六年目に突入したわけです。

オプト

国内では昨年十月より目標を連続達成し、営業の中で「やれる」という雰囲気が出ている。海外は円安でアメリカは良いがEUは苦戦している。総じて昨年より実施している体質改善の効果は利益増に繋がった。

システム

昨年比、赤字半減だが厳しい状況が続いている。具体的には客先訪問を増やす・休眠取引先の掘り起こし・新規顧客獲得に努め、更なる経費削減を地道に努力し、赤字解消に努力したい。

はんこ

そういう指示があったそうです。社内文書に押す印鑑は会社で支給した日付印で業務印は社内において絶対的な価値のあるものと。社内でするものは会社が支給・貸与する。日付印・訂正印は業務に必要なもので会社が支給する。しかし認印は支給されませんでした。

しかし、転職組やエンジニアから来た人にとっては違和感があったそうです。もちろん、社外に出す文書で印鑑が必要な場合は認印なりを押印するのは社会的常識です。

団交しポート

今夏季一時金は、昨年比べて0.33ヶ月アップした金額で評価したいと思っています。

しかし、三社計で対象期間の売上げが前年同期に比べ一・二%アップに対して経常利益(税引き前利益)が倍以上になっていました。

会社は、体質改善、外部仕入れの改善等の効果が現れてきていると説明していましたが、次回具体的な内容を聞きたいと思えます。